

収	前年度繰越金	1,027,078	支	通信費	117,390
	会費	255,000		印刷・事務費	7,805
	寄付	41,154		会場使用料	13,200
	フォーラム参加費	54,500		講師等謝礼	80,000
	物販収入	23,600		雑費	38,925
	利息	129		振込手数料	80
	ハリケーンカンパ	181,180			
	計	555,563		計	257,400
入	合計	1,582,641	合計	257,400	
	※2012 年度繰越金	1,325,241			

※繰越金にはハリケーンカンパ予備費としての預かり金 200,180 円が含まれます。

※2013 年 4 月 22 日、キューバ大使館にてハリケーンカンパ 20 万円をマルコス・ロドリゲス大使に手渡しました。
(本紙 3 ページに報告)

事務局メンバーが ICAP 副総裁らと懇談

キューバ友好円卓会議の事務局メンバー 8 人が、5 月 22 日、都内で、来日中のアリシア・コレデラ ICAP (キューバ諸国民友好協会) 副総裁、米国で投獄中の 4 人のキューバ人 (投獄されていたのは 5 人だったが、最近 1 人が釈放) の 1 人、ラモン・ラバニニョ氏の妻、エリザベス・パルメイロさん、それに駐日キューバ大使のマルコス・ロドリゲス氏らと懇談した。

アリシア副総裁とパルメイロさんは、5 人のキューバ人の早期釈放を国際社会に訴える活動の一環として来日したもので、日本滞在中、国会議員、法曹関係者、メディア関係者、キューバとの友好を目指す団体などを歴訪し、「4 人」の釈放運動への協力を求めた。

5 人の容疑は陰謀罪、スパイ罪で、15 年前に逮捕された。5 人は不当な拘束と主張したが、裁判で終身刑～15 年の刑が確定している。パルメイロさんは「家族は老いつつあり、1 日も早い釈放を願っている。いまや、オバマ米大統領に恩赦で釈放してもらう以外にない。オバマ大統領宛てに恩赦を要請するハガキを出してほしい」と訴えた。

5 月 31 日～6 月 5 日、アメリカのワシントン DC で「5 人のキューバ人のための 5 日間」というキャンペーンが展開され、音楽イベント、芸術展示、会議、ロビー活動など多彩な活動が行われる。オバマ大統領に恩赦を要請するハガキ



前列右から駐日キューバ大使
マルコス・ロドリゲスさん、エリザベス・
パルメイロさん、ICAP 副総裁アリシア・
コレデラさん

キューバに自転車を送る会から
のハリケーンカンパを贈る会から
玲子さん



深く強い痛みをもって、我が国の国民と革命政府はウゴ・ラファエル・チャベス・フリヤス大統領の逝去を知った。そして「我らがアメリカ」の大人物として歴史に入る彼に、心からの愛国的な敬意を表する準備をしている。

彼の両親、兄弟、息子、娘に、そして全ての遺族に心からの哀悼の意を表す。彼らはすでに我々の家族でもある。チャベスはキューバの息子でもあり、ラテンアメリカの、カリブの、そして世界の息子でもあるのだから。

この深い悲しみのとき、我々は兄弟のベネズエラ国民と最も深い連帯の感情を共有する。我々はこれからも全ての状況下で彼らと共にいるであろう。

ボリバル革命は、この困難なとき、我々の断固とした無限の支援を受けるだろう。ボリバル政治軍事指導部とベネズエラ政府の仲間達にたいし、重ねて我々の支援と激励、勝利の確信を伝える。

チャベス大統領は、その若く豊富な人生を通じて、素晴らしい闘いの主役となった。我々は彼のことを、ベネズエラと「大祖国」に奉仕した愛国的軍人として永遠に記憶するであろう。正直で聡明、大胆で勇敢な革命戦士として、また、ボリバルが完成できなかったことを完成するためにボリバルの再来となった最高指導者、最高司令官として、さらに、「我らがアメリカ」の諸国民のためのボリバル同盟とラテンアメリカ・カリブ国家共同体の創立者として、永遠に記憶されるであろう。

彼の英雄的で決然とした死との闘いは、揺るぎなさの最高の模範例であった。医師団と看護婦達の称賛すべき献身的努力は、人道主義と献身の偉業であった。

彼が深く望んだ祖国ベネズエラへの帰国は歴史を変えた。「我々には祖国がある」、去る12月8日、チャベスは感動をこめてこう叫んだ。そして、祖国に帰り、病気がもたらす最大の危険に立ち向かった。何物もまた誰もベネズエラ国民から、救われた祖国を奪い取ることはできないだろう。

チャベスの全ての業績は我々の前に不敗の存在である。2002年4月のクーデターから彼を救い、躊躇することなく彼に従ったベネズエラ国民の成果はもはや後戻りできない。

キューバ国民は彼を自分らの最も優秀な息子の1人として感じ、彼を賛美し自分ら自身のもので従い、愛した。チャベスはキューバ人でもあったのだ！我々の困難と問題を自分の血肉で感じ、特に「特別期」の困難な年月、異例の寛大さをもって、出来る限りのことをしてくれた。フィデルには真の息子のように同行し、ラウルとの友情は深いものだった。

彼は、帝国主義に反対する国際的な闘いの場で際立ち、常に貧しい人々、労働者、我々が諸国民を守る立場に立った。情熱的に、説得力をもって、雄弁に、巧妙に、感情をこめて、諸国民の奥深くから語り、我々の喜びを歌い、永遠の楽天性をもって我々の情熱的な詩を詠った。

ベネズエラで働く何万人ものキューバ人は、国際主義任務の熱心な遂行をもって彼に敬意を表するであろう。そして、引き続き誇りと献身をもって、ベネズエラ国民の偉業とともに歩み続けるであろう。

キューバは、チャベス大統領の記憶と遺産に永遠に忠実であり続ける。また、革命勢力の団結と「我らがアメリカ」の統合と独立という彼の理想を追求する。

これからの闘いの中で、彼の模範は我々を導いてくれるものとなるだろう。

最後の勝利の日まで！



**2014年 キューバ友好円卓会議主催のキューバツアーを実施する予定です
企画が決まり次第、本紙でお知らせします。
乞う ご期待！！**